

科目名	精神看護学特論Ⅲ Topic in Psychiatric Nursing Ⅲ
授業形態	講義(20%)・演習(80%)
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	秋学期 ABC 応談
単位数	2単位
担当教員名	森 千鶴 Mori Chizuru 菅谷智一 Sugaya Tomokazu
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	4B棟502室 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問することmori@md.tsukuba.ac.jp sugaya@mdtsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1)慢性期精神疾患を理解し、評価するための方法について国内外の現状と課題を説明できる (2)慢性期精神疾患患者の特徴に関する国内外の最新の研究論文を熟読し、論理的にまとめて述べるができる (3)慢性期精神疾患の特徴を踏まえ患者の精神症状、身体症状、社会機能を評価できる (4)慢性期精神疾患患者の家族機能の評価方法と援助方法について説明できる (5)慢性期精神疾患患者の地域生活支援として社会資源の活用を含めたケアマネジメントについて説明できる (6)慢性期精神疾患患者のQOL評価とQOL向上を目指した援助方法を説明できる (7)精神看護専門看護師として慢性期精神疾患患者への卓越した看護実践を展開するための課題を論理的に述べるができる
他の授業科目との関連	精神看護専門看護師養成課程 必修科目
履修条件	精神看護専門看護師養成課程履修希望者は必修 精神看護学分野で看護科学特別研究を受講する者は履修することができる
授業概要	精神看護の専門看護師として、慢性期精神疾患患者に対してケアとキュアを融合した高度な看護実践を展開するために必要な理論と方法を習得する
キーワード	慢性期精神疾患患者、評価、ケアマネジメント、QOL
授業計画	プリントを配布し、それに沿って進める。演習の時間を設ける。 1(慢性期精神疾患患者の理解と評価;国内外の現状と課題) (森 千鶴) 2(慢性期精神疾患患者の特徴の理解:文献講読) (森 千鶴) 3(慢性期統合失調症者の特徴の理解) (森 千鶴) 4(慢性期アディクション傾向のある患者の特徴の理解) (森 千鶴) 5(慢性期うつ病患者の特徴の理解) (菅谷智一) 6(慢性期精神疾患患者の特徴の理解) (菅谷智一) 7(慢性期精神疾患患者の精神機能及び身体機能の評価) (菅谷智一) 8(慢性期精神疾患患者の生活能力及び社会的) (菅谷智一) 9(慢性期精神疾患患者と家族の地域生活支援とケアマネジメント) (森 千鶴) 10(慢性期精神疾患患者のQOL評価と援助) (森 千鶴)
学修時間の割り当て及び授業 外における学修方法	講義(20%)と演習(80%)を併用する 課題学習を行う。課題は概説の時に説明する
成績評価方法	2/3以上の出席を以て単位取得の要件とする 課題学習に対するプレゼンテーションと資料を以て評価をする 評価基準: A+ 慢性期にある精神疾患患者の特徴を理解し、根拠に基づいたアセスメントと援助計画を論理的に述べるができる A 慢性期にある精神疾患患者の特徴を理解し、アセスメントと援助計画を述べるができる B 慢性期にある精神疾患患者の特徴を知り、アセスメントと援助計画を述べるができる C 慢性期にある精神疾患患者の特徴を理解し述べるができるが、事例に応用できない D 対象事例のアセスメントと援助計画を立案できるが慢性期の特徴を踏まえていない
教材・参考文献・配布資料等	
その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)	エビデンスの高い論文を読み、論理的にまとめた上でプレゼンテーションを行う 自ら積極的に学び、科学的、論理的な視点を持って討議に参加すること